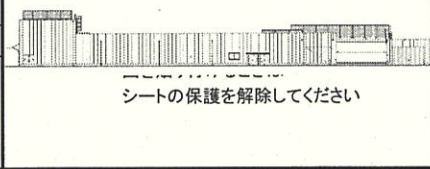


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川口市川口5丁目計画新築工	階数	地上2F
建設地	埼玉県川口市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年5月15日
敷地面積	3,736 m ²	作成者	浅野佑麻
建築面積	2,979 m ²	確認日	2024年5月15日
延床面積	3,176 m ²	確認者	浅野佑麻



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.4
温熱環境	3.1
光・視環境	4.0
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	4.4
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	3.9
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	・客室の天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。	・特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)川口市川口5丁目計画新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	3.4
1 音環境						3.4	0.15		-	3.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						5.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能:T-2				5.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能							-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		-	
1.3 吸音						1.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.1	0.35		-	3.1
2.1 室温制御						3.3	0.50		-	
1 室温						3.0	0.50		-	
2 外皮性能		断熱性能の高い外皮材料を使用				4.8	0.17		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						4.0	0.25		-	4.0
3.1 昼光利用						3.0	0.50		-	
1 昼光率							-		-	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策							-		-	
1 昼光制御							-		-	
3.3 照度							-		-	
3.4 照明制御		1作業単位以下で制御、端末スイッチで調整可能				5.0	0.50		-	
4 空気質環境						3.2	0.25		-	3.2
4.1 発生源対策						3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00		-	
4.2 換気						3.0	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.50		-	
2 自然換気性能							-		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50		-	
4.3 運用管理						4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能							0.30		-	3.2
1 機能性						3.1	0.40		-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-		-	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場天井高3.3m以上				4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33		-	
3 内装計画						3.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計を行っている				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装仕上げ材を使用				4.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高を確保することで将来の用途変更を考慮	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	空間の自由さを確保し将来の用途変更を考慮	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用	4.4	0.20		-	4.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.74	4.2	0.50		-	4.2
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1	モニタリング		-	-		-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの断熱材を採用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.5
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器の採用によるCO2の削減	3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪・駐車台数を確保し車両出入時の混雑を避けた計画	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)川口市川口5丁目計画新築BEE	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=		6.9			
3.9		+		3.0					
重点項目の各スコアの合計点									
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上			

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
・高効率な設備機器の採用によりCO2の削減に配慮している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
・外構の植栽だけでなく、壁面への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。			

: 入力欄